

★神戸の催し物ご案内 6月

△音楽▽

★中村絃子

7日(火) 6時半 神戸国際会館
S・二〇〇〇円 A・一八〇〇円
B・一五〇〇円

★ナンシー・ウィルソン



ナンシー

8日(水) 6時半 神戸国際会館
民音/会員・二五〇〇円 一般・
二八〇〇円

★布野ゆき子ピアノリサイタル

8日(水) 6時半 県民小劇場
一〇〇〇円

★関西学院大学マンドリンクラブ

11日(土) 6時半 神戸国際会館
A・五〇〇円 B・四〇〇円

★大阪フィル/ブルゴス

13日(月) 7時 神戸国際会館
民音/会員・二〇〇円 一般・
A・二八〇〇円 B・二三〇〇円

★舟木一夫

13日(月) 6時半 神戸文化大ホ
ール S・二〇〇〇円 A・一五
〇〇円 B・一三〇〇円

★関西学院大学交響楽団

15日(水) 7時 神戸文化大ホ
ール 四〇〇円

★チューリップ

16日(木) 6時半 西宮市民会館
S・三〇〇円 A・一八〇〇円
B・一三〇〇円

★酒井忠政ピアノコンサート

17日(金) 7時 大阪フェスティ
バルホール BOX・三〇〇〇円
A・二〇〇〇円 B・一五〇〇円

★神戸市役所センター合唱団

20日(月) 6時半 神戸文化中ホ
ール 九〇〇円



井上和世

★井上和世独唱会

23日(木) 6時半 神戸文化中ホ
ール 一〇〇〇円

★コロ・ノ・グワ

24日(金) 7時 県民小劇場 八
〇〇円

★第11回神戸三大学交歓合唱演奏会

25日(土) 6時半 神戸文化大ホ
ール 四〇〇円

★チェリッシュ

27日(月) 6時半 神戸文化大ホ
ール 四〇〇円

★中尾ミエ



中尾ミエ

29日(水) 6時半 神戸文化大ホ
ール 民音/会員・一八〇〇円
神戸大学交響楽団

★神戸商科大学グリークラブ

30日(木) 6時半 神戸文化中ホ
ール 四〇〇円

★俳優座「ルル」

10日(金) 11日(土) 13日(月)
15日(水) 16日(木) 6時15分
12日(日) 1時半 神戸文化中ホ
ール 四〇〇円

★俳優座「ルル」

10日(金) 11日(土) 13日(月)
15日(水) 16日(木) 6時15分
12日(日) 1時半 神戸文化中ホ
ール 四〇〇円

★俳優座「ルル」

10日(金) 11日(土) 13日(月)
15日(水) 16日(木) 6時15分
12日(日) 1時半 神戸文化中ホ
ール 四〇〇円

★俳優座「ルル」

10日(金) 11日(土) 13日(月)
15日(水) 16日(木) 6時15分
12日(日) 1時半 神戸文化中ホ
ール 四〇〇円

★俳優座「ルル」

AIR SPOT

ラジオ関西「斉藤邦雄のワイドワイド関西」(月)金曜あ
さ9時~11時半放送)では5月から「今月の歌」としてオリ
ジナル曲が流れているが、曲の題名は未定のまま放送し、聴
取者から題名を募集している。5月の歌は、元ジョー・
メンバー森下悦伸(現ラジオ関西プロデューサー)の作詞
作曲で、一八九通一五五種の応募のなかから今でもあまた
と決定。同番組のアシスタント、浅尾寿美が担当している。今
流れている「6月の歌」はハワイアン調の曲で、斉藤邦雄の
作詞作曲。同じく題名を募集している。
また同番組では、今月の歌の歌詞も募集。題名の応
募、作詞の応募は、神戸市須磨局区内ラジオ関西「斉藤邦雄
のワイドワイド関西」へ。

6月

26日(日) ①10時 ②2時 神戸
文化小ホール 大人・八〇〇円
小人・六〇〇円

★市民映画劇場「フロントページ」

8日(水) ①10時 ②2時 神戸文化小ホ
ール 四九九円

★創作浪曲「羅生門の盗賊たち」

21日(火) 6時半 神戸国際会館
民音/会員・二〇〇〇円 一般・
二二〇〇円

★アルビン・エイリー舞踊団

24日(金) 7時 神戸文化大ホ
ール S・五〇〇〇円 A・四〇〇
〇円 B・三〇〇〇円 C・二五
〇〇円

★神戸学院大・神戸大・関学大
大学落語名人会

18日(土) 3時半 県民小劇場
一〇〇円

★笑福亭仁鶴

24日(金) 6時半 神戸国際会館
A・一八〇〇円 B・一五〇〇円
第七回元町送人會

★神戸学院大学落語学院

25日(土) 5時 県民小劇場 無料
HAG第9回上映会

26日(日) 2時 三宮青少年セン
ター研修室 無料

★ヴェニス商人

7月18日(月) 6時半 神戸国際
会館

現代の眼でとらえる愛と憎しみ
のドラマ、大胆な新解釈によっ
て躍動する人間模様。

演出/浅利慶太 作/シェイクス
ピア 訳/福田恒存

出演/日下武史 浜畑賢吉 影方
里江はか

A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円
をそれぞれ割引

ご希望の方は電話かハガキで神戸
っ子編集室へ優待券(ハガキ)まで

●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のステージを
割引優待致します。

★ベンチャーズ

7月12日(火) 6時半 明石市民
会館

8月29日(月) 6時半 神戸国際
会館



来日15回目。オリジナルヒット曲
からビートルズナンパ、そして
最もナウなディスコサウンドなど
見どころ、聞きどころが一杯。ア
コースティックなサウンドとドラ
ムのリズムが夏の暑さを消化。
S・二五〇〇円 A・二〇〇〇円
B・一五〇〇円をそれぞれ割引

7月18日(月) 6時半 神戸国際
会館

現代の眼でとらえる愛と憎しみ
のドラマ、大胆な新解釈によっ
て躍動する人間模様。

演出/浅利慶太 作/シェイクス
ピア 訳/福田恒存

出演/日下武史 浜畑賢吉 影方
里江はか

A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円
をそれぞれ割引

ご希望の方は電話かハガキで神戸
っ子編集室へ優待券(ハガキ)まで

人間模様

□人間模様〈第十七回〉
奔放にして理論好き／理学美容師

月乃 桂子

重森 守（元朝日新聞神戸支局長）題字／望月美佐 写真／橋本英男

としごろの女性。——全頭脱毛、つまりツルツバゲになった。眉や体毛まで脱け落ちてゆく……。

診断——原因は、姉に比べて不美人だと意識しはじめた三歳のときに遡る。アゴが外れて以来、ひとより二割も顔が長くなったのだ。そんな劣等感が、たまたま縁談がこわれたことで表面化し、脱毛症状を招いた……。

暮合の東端、県立近代美術館にほど近い「ビューティ・ドック」別名「理学美容研究所」——その女あるじ、いや理学美容師範のえらいオバサマのご診断である。白を基調にしたクリーンな「診察室」らしいのが並んでいて、いかにもベッピンをつくる部屋という雰囲気。そんな身上相談みたいことまでおやりになるなんて……。で、どうやって原因をつきとめるんですか。

「ヒザを交えて、カウンセリングです。このときは親、家族も呼んで、延々七時間ですよ」

そのハゲ、ほんとに治りました？
「そりゃ、もう（当然のように）いろんな障害にはネ、そうなるだけの神経的なひずみが必ずあるんですよ。私はそれをひき出すテクニックを心得てますからね、五年十年も前からのメンタルなものを、話合いでつきとめる。すべてそっくり解明しておかないと、いったんなおつても、また出てくるんですよ」

脱毛の女性には、足がきれいなこと、笑顔にとっても魅力があることなどを教えて、まず精神的に明るくさせるというご指導。

「理学美容ってのはネ、美しくあるための『心づくし』を相手に与えることなんです。そういう指導と、あとは実際ですね。二十歳や三十歳のぜい肉は、すぐ取ってあげられます。大事なのは、新しくぜい肉をつけないように、お互いが協力しあって徹底的に体質改善を考えていくことです」

ふくよかなお顔、こ肥りの貫録。よく通る高い声で、あとは立板に水——。

いわく、いまやっている経絡美容法は古く中国に発し儒学思想に基いていること。形而上の方向から美を考え、すべて宇宙の法則に従っていること、エステティック（理学）は審美眼であり、薬や指圧は全く使わずに美をつくっていること……

WHO（世界保健機構）の姿勢まで狙上にのせて、論理的？に、ダイナミックに、止どまるところなし。

アノ、つまり、実際にはどうやってベッピンに仕立て上げるんですかねえ。

「経絡という考えに基づいて、まずハンドテクニック、それにエレクトロ（電気的な刺激）、肌に対しては化粧品、それらを縦横無尽に使うんですよ」

ハンドつてのは、つまり指圧のことでしょうが…

「全然ちがいますね。痛さを感じさせたら美容じやない私のは、皮膚の表面から自律神経に柔かく刺激を与えて安定させるのです。そうすると皮膚はますます快感を強め、満足につながり、女性美を高めていく。なにしろ女性には全身に性感帯を持ってるでしょう。そりやもう快感、快感、快感、ああ、気持がいいなあという積み重ねでリラックスしていただきながら美しさをつくるんですよ」

どこやら、新興宗教の教祖めいた感じ。いっそ「月乃教」なんていかが？

「同じこと、前にもいわれたけど、そんなんイヤや。気持ちわるいいうて断ってやった（口調が少しずつ荒らっぽくなって）私のはネ、例えばハンドでも、ちゃんと理論を組み立てた上で基準つくって、自分自身の皮膚で反応をみて、アレンジしながらコースを決めてるのよ。霊感や占いは本質的に別のもの。理論の裏付けができるまでは絶対に開始しませんからね」

こうみえても学術的、倫理的なんだ、と再三強調なさる。かと思えば一転して――

「女性のボディに触れてるときって、ものすごく幸せですねえ。長年の間に女性の肌をいとおしむ心が身についてしまったんやろなあ。そりや、見事ですすよ。さわり出したら五秒とたたんうちに私の掌がまっ赤になって、四十度ぐらいの熱をもってくるんやから」

大阪・河内育ち。若いころは演劇少女。なんと俳優だった。高校を出て「アカデミー」や「新春座」など大阪の小さな劇団を転々。あしべ劇場で足を上げたり、ドサ回りをしたり、大ホールで客演したり……

実は、私が脚本を担当していた連続TVドラマ「部長刑事」にも、チョイ役で出たことがある。ホラ、これがそのときのスチール写真。ゆうべ、古いアルバムからはがしてきたんですよ。

「へえー（感慨深そうに、じつと見て）若いなア。色気もあるやん。思い出したワ、これ、殺される役や。あの



ころ、ちっともいい役つかへん。脇役で通してたなあ」
 そのころ太りだし、一時は体重六七キ。和服の前身ごろが合わない。加えて、ひどい股ズレ。こうして、やせるために飛びこんだのが理美容の先駆者K氏の許。そこで、ひと月のうちに五キやせる、という体験をした。運命的な出会い。二十余年も前のことだ。

やがてK氏のアシスタントにと云われた。役者稼業に見切りをつけていたときでもあり、ソロバンもはじいたけど、なかば意地で「この世界に飛びこんだ」。

「Kさんの内弟子に総スカンくって、いびられたなあ。あのころの私、こましくされて、見識ばかり高うて、回りからみたら鼻もちならん子やったんやろねえ」

K氏の指導で、物理、化学の基礎から勉強をはじめた。「壁にぶつかって、ぶつかって、ぶつかってばかり」という苦難の連続――。

どうして、逃げ出さなかったのかなあ。

「あのころは、こういう仕事、ほかになかったですやんそやから、この道を進んだら自分がやったこと、歩いた記録、つまり生きてきた証拠（後世に）そっくり残る思うたんですよ」

おお、たくましく開拓者精神。そして、なんと自己顕示欲。
ワシントン・ポスト

「そら、役者やるような人間には、大なり小なり自己顕示



ABC部長刊事「遺書」から（34月2月放映）
 右は国田栄弥、昔なつかしい桂子さんの演劇少女のころ。

いうか、
 世間に自分
 分を認め
 させたい
 気持ちで
 ありまっ
 しゃん」
 三十四
 年一月、
 大阪・道
 頓堀に、

たつた四坪の第一号店オープン。数年後に拡張改装、四十七年には神戸の現在地へ進出して本拠をおき、同時に十年がかりで経絡美容法の体系化完成――。

いまや東京にも進出を果たし、国際美容賞なるものも獲得。直営以外に十カ所に分室を設ける勢い。月乃コンツェルンの繁盛ぶり、まさに日の出の勢いだな。

「いえいえ、年商一億二、三千万円でとこな。会員（患者）は予約制で一日に多くても十二、三人ですからね。入会金から指導料までふくめて一件七万円ぐらい。まあ、私は大変やすいと思えますがね」

そんなにお高くとまってるんで、もっと薄利多売やらのですか。

「や」と系統立った統計ができたから、この秋に初めて目黒分室で「大衆化」するんですよ。ワンコース三万円ぐらいかな」

こちら、コンピュータまかせのオートメ商法とか。いよいよ立体経営ですな。

「本当のテーマはこれからですね。間もなく私も四十四歳、や」と円熟期ですからね。日本じゃ、ある程度の年齢にこないと社会的に信用されんところがありますやん」

おお、女ざかりの円熟期。ご自身の美容については、悩みはおまへんのか。

「まあ、満足してるわけやないけど、こんなとこやないですか」

すつくと立ち上がり、ちよつとポーズをつけて――
 「バスト90、ウエスト67、ヒップ91。ちよつと太目やけど、いまだにバスト落としてませんよ」

というと、まだオッパイがプリンと上向いてる？
 「そう。見事なもんですよ」

ムムツ。鼻先で「B90」が挑発的にユラユラ。

「裸になった方が細う見えますねん。私ネ、自分の裸みるの、大好き」

ナルシストだなあ。そういえば、結婚はまだ……



「月に一回」なんてのは不自然ですものね。そんな女性はふとったり、顔にシミみたいな小さいブツブツが出てくるんですよ」

こちらの視線に気づいたように――

「私はネ、仕事で成功した瞬間のゾクツとするような喜びをしばしば感じるので、あれが性の最終的な喜びのかわりになってるんでしょね、ここ数年は……」

結構、結構。ま、信用しときましよう。

ところで、男性相手の美容法は、おやりになら

ないのでしょうか。

「それねえ、三年以内に着手する企画を立てています。

美容といっても、ぜい肉をとるぐらいでしょうけど……」

その節は、どうか第一号会員にたのみます。このところ運動不足で、おなかの具合が気になってるんですよ。

「ハハハハハ、ま、ふつうの結婚は一度もしたことないですね。けど、バージンとは申しませんよ、いろいろな自由奔放に生きてきたんだから……」

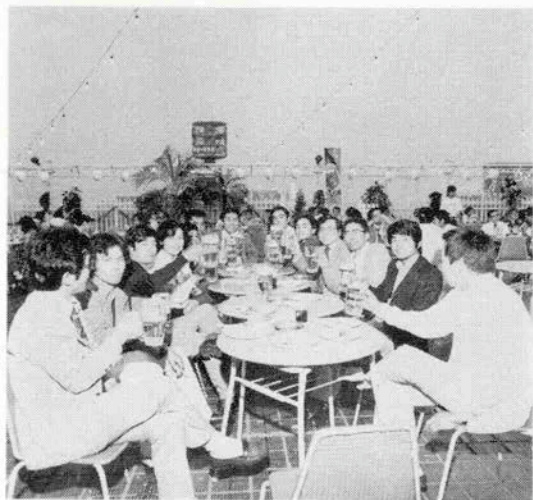
こういうときこそ「羨しい」といふべきかな。ご本人は別として、相手の男性が……。

「私みたいな体型ネ、色白で、肌目こまかで、曲線が強く、声のオクターブが高い。こういうタイプは割合に男を求めない。受身ならついていくが、（男が）なくても何年でも平気。淡泊なのが多いですね」

カラッとお手のものの分析をしてみせて「私も万博の年からずっとゴブサタなのよ」、ナヌツ、信じられんなあ。美容のカウンセリングで、会員に性行為をすすめるケースはあるでしょう。

「羞恥心とか違和感でソレを避ける女性にはネ、間違いだ」と指導してあげてます。二十代の後半にもなっ

爽やかに夏を飲みほそう！



スカイサントリー

三宮・交通センタービル

☎ 391-3705

国鉄、阪急、阪神の各三宮駅と直結しているためオフィス帰りや待ち合わせに便利である。月1回、アトラクションが予定されているが、普段は静かな雰囲気のなかで飲める。料理はレストランから直送だから定評がある。また、雨の日は9階のバブを利用するのもいい。期間9月10日まで。5PM～9PM（ただし6/14～8/14は9:30PMまで）



オリエンタルホテル

オリエンタルホテル3階屋上庭園

大丸神戸店屋上・神戸新聞会館屋上

お問い合わせ、予約申込みは☎331-8111

ホテル料理をエンジョイし、トップレスが楽しめる魅惑の特別ショーが毎夕あり、神戸新聞会館店、大丸店ではギター伴奏にのって歌える。愉快地飲むには最高の雰囲気だ。オリエンタルホテル、新聞会館店は8/26まで（5:00PM～9:00PM）、大丸店は9/7まで（5:00PM～8:30PM、7/1～8/15は9:00PM）で、オリエンタルホテル店は日曜、大丸店は水曜定休。

夏本番! ビールのうまい季節です。



NP ニューポートホテル

三宮フラワーロード

☎231-4171

〔ビアーパーティご案内〕屋上または各宴会場を利用の場合は、おつまみ料理盛合せ、ビール(大)1杯、ビール(中)またはウィスキー1杯で1人3,000円(税・サ込)。また、樽詰め生ビール(19ℓ、30ℓ)を指定の会場まで出張サービスをしてくれる。〔家族4人でのバックプラン〕生ビール(大、中)各1杯、ジュースまたはコーラ2本、おつまみとお子様ランチ盛合せで5,000円。期間は8月14日まで。5:00PM~9:00PM



ニートキョー

さんプラザビヤガーデン

☎391-9453

生ビールはニュートーキョーで! 山と港が見渡せる景観は神戸ずいーで夜景は特に素晴らしい。毎夕バンド演奏が入り雰囲気を楽しく盛り上げてくれる。今年から女性に評判のいいビザがメニューに加わった。グループのときはおなじみの樽入りビールが徳用だ。期間は9月10日まで。5:00PM~9:30PM 期間中無休。



動物園飼育日記

130

— 亀井一成

アニマル事件シリーズ〈2〉

ゾウ大脱走！



エレベーターの中、突然の停電にご遭遇なさったとお考え頂きたい。もちろん暗闇。しかも、たったひとりだった。

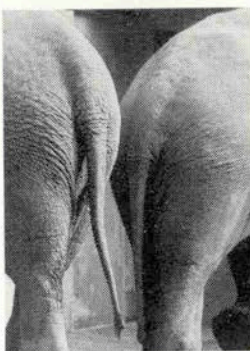
はっとしたあと反射的に天井を見あげてしまう。たっ
たいままでついていた蛍光灯にさそわれているのだ。そ
のあと手をだし、手当り次第ボタンを押し、何とか扉が
開かないか、右、左、ともうだめと解れど手探りを続け
まくるだろう。

それは閉じこめられたという不安に対する反射行動で
そこには人間以前の「鼻探り」という動物的本能行動ら
しきものがのぞけるのである。ライオン、トラ、ヒョ
ウ、キツネ、タヌキ、イノシシ、クマたち、それにこの
稿の主演ゾウなど。

とにかく新着当初、何れの動物たちもが、オリに入れ



▲やさしい目もと



▲巨大なおヒップ
▼スラッ短い足



られたとたん、部屋中、隅から隅まで、「何処か抜け穴
ないかいな。」

係員の立ち去ったのを確かめては、餌には目もくれな
い。みな、鼻先を漏らし「きき鼻」たてて、逃げ道を探
り回るのである。

〔鼻先のガン〕

それが、また、単身のときだけかと思えば、そうでは
ありませんでした。さほど争いを見せないキツネ、タヌ
キ、イノシシ、クマなど10頭以上の群の中に入れてもや
はり、仲間の方に行こうとはしない。わがひとりで辺り
を鼻で探り回る。5周10周なら、いざ知らず、何百往
復、疲れきるまで探り回るものだから、当然のことあの

大切な鼻先に擦過傷。いや、ヒゲですらすり切れてしま
う。そこで、どんな大きな群の中であろうと、「あれま
た新人が来ましたネ。」といとも簡単。プロらしく「あ
の「頭新人だネ」などと思破って得意顔できるのも、そ
うした鼻探りによる「顔(ガン)」が残されているからだ
ある。

いやおはずかしい限りですが、こうした「鼻探り」で
翌朝逃げ出し、オリの中はもぬけの空だったという事
件。一度もございませんでしたなどとは云えない。

扉のカギが故障だったことから、鼻で押し、すき間に
顔を入れようとするうち、ひよいとゆるんだ扉から、さ
っと抜け出した事故もあった。

ところが、初めての場所つまり環境のちがった所では
せつかく抜け出ても全力疾走など、意外やできないもの

らしい。またぞろ、オリ辺りに、いや、やはり仲間のも
とに舞戻ってくる人が多いのである。

〔鉄パイプをへし折ったゾウ〕

ある日。まちがいなくゾウ2頭、オスメスを室内に入
れ、施設も3回確認した。そのはずのオスゾウ1頭が、
深夜、ガラス窓を、どうぬけたのであろうか一枚も割ら
ずに4トンの巨体を運び出し、園内をウロウロ、散歩し
はじめたのだ。

もちろん宿直者もいたが動物舎との距離があつて気づ
かない。やはり、一気に駆けださないで日頃の隣組動物
舎へ顔をのぞかせ、またぞろメスが残っている部屋に戻
る。と、またまた折返し遠くへ足を運ぶ。これ、事件後

の足取りで解ったことだが、モンキーホール、鳥舎、公衆便所、猛獣舎、売店、と、その行動範囲は、全て残っているメスゾウの視界内であったこと。なるほど、ゾウのリーダーは、やはりメスという恐妻家ぶりがのぞけたのも記録すべき脱出事故内容だった。

「見破った欠陥パイプ」

それにしても、80ミリという太い鉄パイプで囲まれた室内にいないはずのゾウが、無傷、さらりと抜け出ていることに、驚きと安全柵への信頼を失ってしまった。

もちろん、体を細め抜けるはずがない。どうはずしたのか正面右端一本を、確かにへし折り、大きく曲げられ、そこから出入したあとが生々しく残っていたのである。

5トンの体重をぶちかまそうが絶対安全であると言う力学計算もしてあったし、パイプ上下をコンクリート内部の鉄筋に溶接もされていた。

それなのに、床面のコンクリートが壊されパイプは上にとり曲った状態で、へし折られていたのだ。

あの太い鉄パイプの塗料ははげ、何時も、ピカッと光



もう大丈夫、レールフェンスで安心です

っていたこと、5トンという体重を常につけ、背や尻をこすり回っていたからで、仔細に見ると、長い年月の間には、毎日こすりつける個所のパイプが少々やせていたことも事実だった。しかし、そこからは折れてはいなかったのである。

飼育者にとって、動物の健康管理と同時に安全確認という欠されない責務がある。そこで、施設の確認と同時に飼育舎内部の鉄格子や扉回りの破損がないか、チェックすることも義務づけられている。

それにしても昨日まで、このパイプに異常を認めることができなかった。ガタガタとゆるみも発生していなかったのだが、しかし、折れているからには、何等かのゆるみが生じていたはずである。いや実は人間の我々には、その僅かなゆるみを知ることができなかったのである。

実はパイプ下部(床面)埋めこみ部分が浅く、鉄筋との溶接も不十分だった。いや、その上、採寸にあやまりがあったのか、パイプに継ぎめがあったのである。

毎日のようにあのデカイ横腹や尻、それにキバを突き立て回る彼等。ふと、僅かなパイプの異常震動をキャッチしていたにちがいない。

その事故当時、確かに同じパイプ付近ばかりに体重をかけぶち当っていたオスを目撃していたのである。

もちろん、その部分だけの手直しだけではすまされない大チョンボだった。そこで市電のレールを載くことになって、少々、痛々しい感じをするレールフェンスと相成っている。いや実のところ、レールの裏、つまり内面を動物側に向けてあるので、さほどの痛さもなく、むしろ、背や腹をこすりつけるのに具合が良い。さらに強度はパイプの比でないこと。うまくやれば、無償払下げさえのぞめるということもほんとのこと。あちらこちらの動物園がこのレールフェンスを利用している。

えっと忘れていました。オスゾウ、ええかげん遊んだのち、抜け出た同じ窓を越え、同じ欠陥パイプの所から、無事、部屋に戻ってくれたのである。

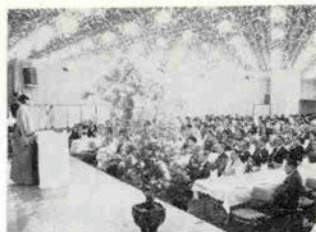
△写真も筆者△

★神戸の集いから

★「花の心」求めて50年

「日本人の心は花を生ける心。自らが『花の心』になる」と、50年を迎えた新

日本華道の西村雲華家元は500人近いオリエンタルホテル大ホールを埋めた一門の人々とゲスト客の前に語る。初代の翠雲は西脇の出身。二代目雲華は、昭和19年に累一高女に就職したことがきっかけで華道の世界に入り、戦後の花のない時代、山野の雑草を生け、昌鳳院流を「新日本華道」と改め流派を越えた研究指導を。と前向きの姿勢がアビール。兵庫県いけばな協会もとより、日本いけばな芸術協会の理事として活躍。田熟



多彩な人々が集った会場

期を迎えた創始50周年の集いに、小原豊雲、肥原康甫

小倉敬二、坂井時忠、砂田重民、石井一、金井元彦、白川渥、荒尾親成さんら多彩な出席者が集った。

★16人の力作「燦の会」

4月7日から12日までさんちか広場で兵庫県女流いけばな「燦」16人展が催された。三年前に発足したこの会は流派を超越して親睦を計り、講習会を開いたり実地の見学をしてお互いの向上をはかろうというものの第一回目とあってそれぞれ16名が自由にスペースを使って作品を発表。さすがに見応えのあるダイナミックな展示会だった。



第1回「燦の会」発表会

会員名／大島訪春（池坊）瀬島一秀（一秀未生流）亀島豊鶴（小原流）廣瀬輝月（温故流）福田宗桂（桂米生流）後藤佳風（處心流）吉田多年市（嵯峨御流）高井翠花（新日本華道）笹子静華（真生流）磯田春帆園（松月堂古流）桐野実甫（石水未生

流）森丹草（菫月会）成瀬香梅（知香流）中尾昇甫（中尾流）黒田多津市（未生流）藤本高圓（未生流）

★河口龍夫の「関係」

北野町は異人館通りのギヤラリー「キタノサールカス」（北野町4-45-1 ☎219294）で、帰国後、初の個展を河口龍夫さんが、5月14日より半月間開き、そのオープニングに現代美術のユニークな人々が集つ



河口龍夫さんの帰国後初の個展に集まった人々

た。「関係」をテーマに、白いじゅうたんの上に鉛が土俵のような円を描いたり壁を伝ったり、小さなお多福豆状の鉛のふたを開ける「word」が色々飛びだす。love, end, air etc. 河口龍

夫の「関係」のマクロとミクロの世界が語りかける空間構成は緊張間とユーモアが心よい。

赤根和生、ヨシダミノル福岡道雄、村田慶之輔、吉田稔郎、今井祝雄、藤原向意、榎忠さんら1000人近くが会場を埋めた。

★アラマンのりにつて大いに唄う

神戸が生んだシンガーソングライター、新井満さんが「日曜日のアルファベツトアベニュー」と題したコンサートを5月1日（日）ローズガーデンで開催した。



和やかなムードがよい！

LPも発売した新井満さんは次々と神戸の歌を弾き語り、会場を埋め尽くした50名のファンと共に約2時間を満喫。午後6時からの演奏の後は神戸っ子主催のパーティーも開かれ、食べて飲んで、ゲームをしての楽しいひとときを過ごした。

脳障害児の治療をさぐるやまびこ会

橋本 明〈家庭養護促進協会事務局長〉

神戸に身障児をもつ親やその関係者が集まって治療や訓練のための情報交換の集いをもつようになって二年近くになる。この小さな集いは「やまびこ会」とよばれ、脳性マヒの子どもをもつお母さんたちや施設、教育関係者たちが三カ月に一度集まって身障児のためのよりよい訓練や将来の方向などを手さぐりでさがし求めている。

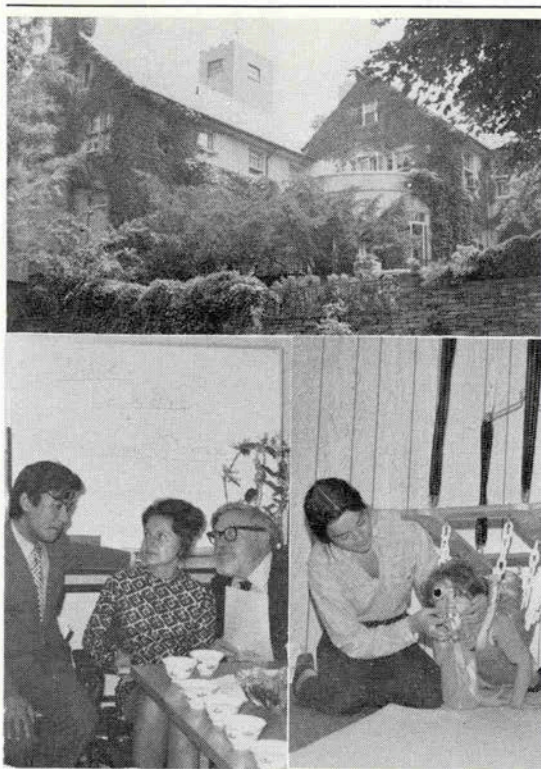
そもそもこの集いは、三宮で小児歯科を営む佐本進さんが昭和50年8月にフィラデルフィアにある人間能力開発研究所を訪問し、そこでグレン・ドーマン博士の画期的ともいえる脳障害の治療法を見学し、帰国後新聞にその見聞記を寄稿したところ、身障児をもつ家族や関係者から大きな反響があり、関心を寄せる人たちが翌9月に

集まって話合いの機会をもったのがこの集いのはじまりである。

米国フィラデルフィア郊外の閑静な森の中にある人間能力開発研究所というのは脳障害の研究・治療・訓練機関で、スタッフはドーマン博士をはじめとして総数六十人余、患者は月に三十〜四十人で患者は年に二度、三カ月ごとに研究所を訪れ、約三カ月の訓練を受けて自宅に帰っていく。ここには米国各地からはもとより、世界各国の身障児をもつ親がはるばる遠くから治療を受けにやってくる。日本からもすでに数十人の患者がこの研究所の門をたたいている。こういう海外から治療を受けにやってくる人たちのために研究所の支部が世界各地に設けられており、初診時だけこ

こで基本的な訓練を受けるとその後は各支部にスタッフが外向いてその後の指導をするようになっており、日本の窓口は東京にある日本人間能力開発研究所(松沢要理理事長)である。

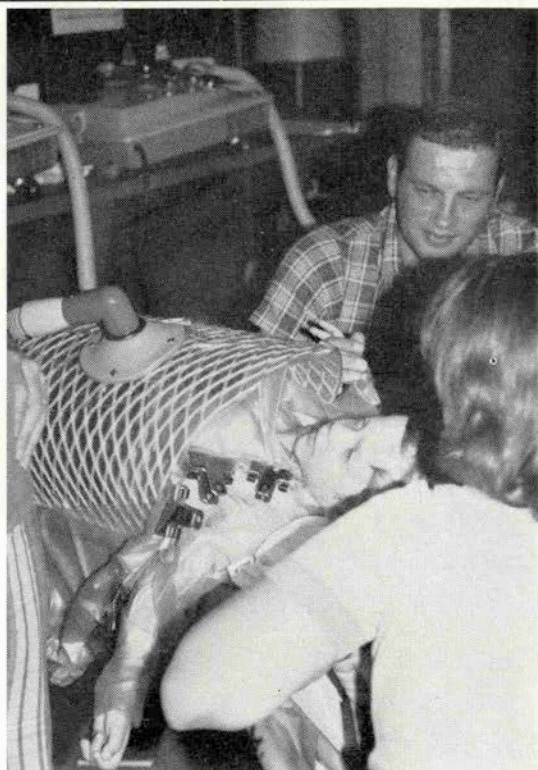
「絶望から希望へ、マヒから歩行へ、盲目から読書へ、オシから会話へ、治療の結果は全面的なこれらの成功から、ときには失敗も含む幅広い可能性の中です



上：人間能力開発研究所本部（フィラデルフィア）

下右：訓練風景

下左：Dr. グレン・ドーマン夫妻とともに、左・佐本さん<1972年神戸にて>



訓練風景

読まれているのでドーマン博士の名前は日本でもかなりよく知られるようになってきている。

脳障害児の訓練法にはこのドーマン方式の他にボバーズ法、ポイター法などいくつか知られているが、訓練方法は違っても考え方には共通した部分も多く、それぞれすぐれた点を学び、実践していくことができれば一番いいわけであり、そのための意見や情報交換、体験の話合いなどを通して親睦を深め、できれば関西地域に脳障害児のための専門の治療・訓練センターをつくりたい——というのがこの集いの夢でもある。

ら、治療を受けて良くなるものが、かなりの数に達している事実には驚くべきものがある。このドーマン博士たちの治療上の信念は、外科的手術を用いずに脳の障害に挑戦しようとする療法で、頭部や体や足の運動を行うが、これは単に腕や足の強化訓練ではなく、あくまで障害のある脳に本来あるべき機能を回復させるのが目的である。脳障害の原因が脳にある以上、脳そのものもがもつ問題を解決できればマヒなどの症状も自然消失するであろう、というのが治療の基本的な考えである。

トレーニングのプログラムは、まず人手に助けられて腕を、そして足を動かすことから始め、次に腹ばいが、更に四つんばいが出来るようになるまで何カ月もかけて徹しい訓練を受け、最後には歩くことを自ら習い覚えさす……（佐本さんの見聞記より）。

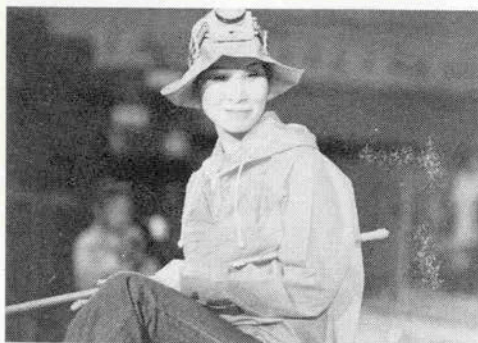
このような画期的な治療法に取りこんでいるグレン・ドーマン博士は昭和47年6月に来日し、神戸の国際会館で講演をしたり、垂水の桜の木学園を訪問したりしたこともあるので憶えておられる人もあるだろう。また彼の著書「親こそ最良の教師」（サイマル出版会）は身障児をもつ親をはじめ、医療・教育・福祉関係者の間で広く

が大切だとは言われながら、現実には早期発見ができたとしてもそのあとの早期治療や教育・訓練となると、これが実際にはほとんどできる体制が整っていない。障害児をもつ親はよりよい治療法をさがし求めるために子どもを抱えて次々と医者を訪ねて回り、遠くの施設や、あるいは海外までも足をのばし、労をいとわず東奔西走しているのが現実であり、身障児をもつ家族の経済的負担や精神的、肉体的疲労は並大抵のものではないはずである。佐本さんの新聞に載った短かい文章がいろいろな反響を呼んだのも単なるヒューマニズムに感動したからというよりも、現在の日本の身障児家庭の問題の多様さと深刻さ、それと国の施策を含めて今の福祉や医療の貧しさをよく物語っているといえる。

佐本さんの投じた一石が小さな輪をひろげつつあるが、今後何をどうしていくかはこれから模索していくべき大変難しい課題であろう。△写真／佐本進さん撮影▽

Jeanning life

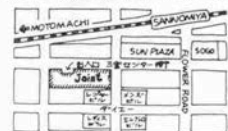
イキイキ



今、神戸に本物のライフスタイル革命が、起ころうとしています。あくまでも日常生活に密着した、生活・パターンの革命なのです。現代のせせこましい都会の生活の中で、余りにも周りがそうであるが故に、せめて自分達の生活・暮らしは飾り気のない素材なものであっても良いのではないだろうか。何かしら、その「素材さ」こそ本物の本物のような気がしてならないのです。

時、今年の3月初め。この「素材さ＝本物」を、今一度神戸に再現しようと多くの人々が参画して作り上げたお店。三ノ宮センター街のド真中。それが革命の仕掛人「ジョイント」なのです。多くの人は、まずこの「ジョイント」を開く前に、「素材さ＝本物」について話し合いました。そして当然のごとくそれは使い古された一本のジーンズに集約されたのです。「使い古された一本のジーンズ。」大袈裟じゃあなくそれはそれを持つ人々の生活の鼓動を伝えて来ます。ジョーニング・ライフの鼓動なのです。「素材さ＝本物」を愛する人々のジョーニング・ライフ・ツール（道具）は、一本のジーンズだけではなく、飾り気のないマグ、ケヤキの器、籐のカゴ、アルミの鍋、鉢植のグリーン・プランツ、朝晩のランニングのためのジョッキング・シューズ、たまに都会を離れてバック・バック・バック、エトセトラ。これらのツールがすべてこの「ジョイント」で揃ってしまふのです。一度おこし下さい。本物との対話の時間を作るためにも!!

(写真は全て5月14日の大山田ファッションカーニバル「ビバ！ジョーンズ」(ジョイント提供)より)

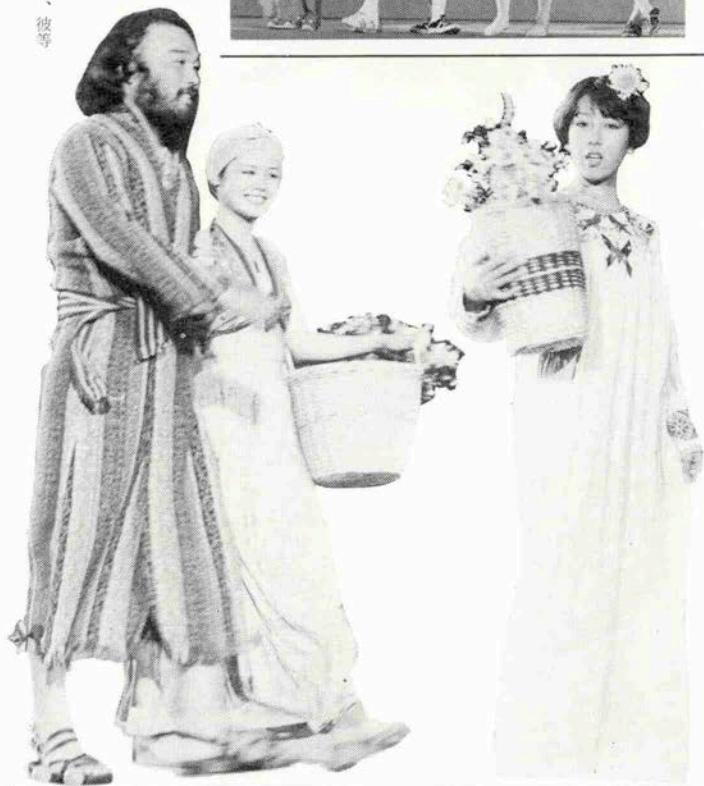


営業時間 朝10時～夜7時
神戸市生田区三宮町1丁目5番 電話 078-321-2046 代表

ウェスト・コーストを流れる風。あくまでも澄きったカルフォルニアの青い空。オレンジの林。ウェスト・コーストに学ぶ学生達は底抜けに明るい。素晴らしい本物の環境があるからです。UCLA、USC、USBの学生達はスポーツ好きで、そのスポーツウェアが、彼等の日常生活と密着しているのです。



インドから、パキスタンから、ペルーから、メキシコから、アラガニスタンから、ベルシヤから、中国から、ギリシヤから、フィリッピンから、ポーランドから、そして世界中から、彼等の日常生活をささえるツールが「ジョイント」に結集しています。3Fの「FOLKLORE・BAZAR」のコーナーがそれです。長い長い各民族の歴史の中で、育まれて来たこれらのツールは、機能的にもすぐれ、これまた、「ジョーニング・ライフ」にはかせないものです。



FASHION REPORT Ⅱ 市野木江充子〈ハニットデザイナー〉

knit life クスクス



いまファッションを語る時、必ず出るのが自由という言葉ですね。
自由な着こなし、自由な組合せ、自由な考え方——。

私も何時も心の中で自由な時がほしい、自由にしたい、と叫んでいます。でも、もし、いまほんとうの自由をあなたにあげましようといわれたら、こわくなるでしょう。何故なら、自由を手に入れば、孤独も背中合せに、くっついてくるからです。だから、つくる人も、着る人も、口ではいつも自由にしたいといいながら、最後のところでは必ずセーブしている。

この最後の一寸したところへの心くばりがファッションのきめてだと思っています。

このところファッションとは人と人とのふれあいだ、とか、生活のすべてだ、とか、いろいろいわれて、誰もが何となく、ファッションというものを分ってきたみたいだけれど。

着るものに関しては、COORDINATEという言葉が一般につかわれだしてから、何かつまらなくなってきましたね。

つくる人の心がたのしければ、着る人にも心ず分ってもらえると思うのだけ——。

いま、私がのっているテーマはジョーク。もう少しわしく言えば、クールで、クスクスと一寸皮肉っぽいおかしさです。



パステルカラー 5対0



第二回

神戸文学賞
神戸女流文学賞
作品募集

小社は昨年創刊15周年記念として神戸文学賞および神戸女流文学賞を創設いたしました。有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそうの発展のために微力を尽したいと願っております。第一回神戸文学賞は田摩新「島之内ブルース」、同女流文学賞は小倉弘子「ベットの背景」に決まりました。ここに第二回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第であります。

〈募集要項〉

- 一、神戸文学賞は男性作品、神戸女流文学賞は女性作品とし、共に西日本在住者に限ります。
 - 一、応募作品は未発表原稿、または締切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。
 - 一、原稿枚数は四百字詰百枚前後。
 - 一、原稿には住所、本名、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度のあらすじをつけて下さい。
 - 一、締切りは九月一五日（当日消印有効）
- 一、入選発表は本誌十二月号誌上。昭和五十三年新年号より作品を掲載します。
 - 一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。
 - 一、入選作品の著作権は本誌に属します。
 - 一、入選作品各一篇には副賞として賞金二拾万円が贈られます。
 - 一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市生田区東町一一三の一 大神ビル七階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
- 電話〇七八―三三一―二二四六

☆なお、選考は本誌が依頼した選考委員によって行います。

主催／月刊神戸っ子